

教科	自立活動	単元名	運動動作の姿勢
----	------	-----	---------

本時のねらい

・姿勢と運動・動作の基本的技能とバランス感覚を養い、正しい姿勢を保持できる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・オクリンクプラスを使用して意見を出し合うことで、他者と瞬時に共有ができ、また、違った意見にふれることで、新たな発見につなげることができる。
・ふり返りをクラウド上に蓄積することで、前時の活動内容や、単元を通じた自己の変容を確認できる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・カメラ ・オクリンクプラス ・電子黒板（ストップウォッチ機能）

本時の展開

本時で育む主な情報活用能力

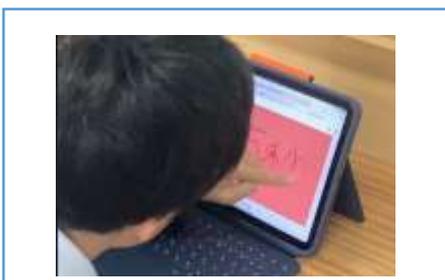
C-STEP3, K-STEP3
E-STEP3

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを共有する。 「動作を確認し、違いに気づき、改善しよう。」 ○準備運動をする。 ○教員の見本をカメラ機能で撮影する。 ○片足立位保持をしているところを交代で撮影する。 ○自ら目標を設定し、オクリンクプラスで共有する。 【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らカメラ機能を使って撮影することで、カメラの使い方の練習とともに本時の学習意欲を高める。 ・ストップウォッチを電子黒板に映すことで、自分のタイムを確認できるようにする。 ・目標を可視化することでより明確になり、他者と瞬時に共有できる。(キーワード【姿勢・足(立つ位置など)・手])
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○教員の見本と自分の動画を見比べて、気づいたことを共有する。 ○再度行う際に意識するポイントを、オクリンクプラスに書き込み共有する。【写真2】 ○書き込んだポイントを意識してもう一度、片足立位保持を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を何度も見返すことで、見本と自分との違いに気づくことができる。また、他の生徒が気づき、発言した内容についても、手元の動画で確認することができる。 ・意識するポイントをオクリンクプラスで言語化することで、再度行う際に見返すことができる。また、他者の考えに触れることで、新たな発見につなげることができる。 ・ストップウォッチを電子黒板に映し、自分のタイムを確認できるようにすることで、1回目の自分からの成長を実感できる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○活動を通して自分の変わったところに注目しながら、ふり返りをオクリンクプラスに書き込む。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・次の自立活動の時間のはじめに、本時で撮った動画やふり返りを見返し、本時とのつながりをもって授業を始めることができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】自ら目標を設定しオクリンクプラスで共有



【写真2】次の実践で意識するポイントをオクリンクプラスに書き込む



【写真3】ふり返りをオクリンクプラスに書き込む

児童生徒の反応や変容

・教員の見本と自分の動画、また最初と最後の自分の動画を見比べて、検証の結果がどうなったかなど視覚的に改善すべきところや改善したところがわかりやすくなってよかった。
・興味を持ちながら前向きに話し合う姿があった。
・自分で秒数の目標を設定し、仲間と競い合うことで意欲的に活動に取り組んでいた。
・活動ごとの意見交流で自分の意見を仲間に口頭で伝え、オクリンクプラスでも記入し、他者の意見も見て次につなげようとしていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・自ら教員や友達の姿勢を撮影することで、本時への学習意欲を高めるとともに、何度でも見本や自分の姿勢を見返すことができる。
・オクリンクプラスに自分の目標を記入することで、他の生徒の目標も瞬時に共有でき、お互いの目標を知りながら本時の活動に取り組むことができる。
・活動ごとのふり返りをオクリンクプラスへ細かくアウトプットすることで、自らの変容を残し、見返すことができる。